

事務事業名		県営農業用河川工作物応急対策参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	9260	一般	6	1	5	県営農業用河川工作物応急対策参画事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	22年度～29年度		根拠法令 条例等	県営農業農村整備事業調査設計実施要領、農地防災事業等補助金交付要綱					
	実施方法		直営		事業分類		参画事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし				市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
栃木県が農業用河川工作物応急対策事業により更新を計画している本事業に参画する。農業用河川工作物応急対策事業とは、河川法が適用される河川に設置された頭首工等の農業用河川工作物で、構造上の欠陥や機能の喪失により、河川管理施設等構造令に照らし、治水上問題があり、河川管理者から改善要求等の出されている施設の整備、補強又は更新を行う事業である。 具体的には、秋山川の赤坂堰の更新工事を本事業により行う。負担割合は、調査設計が県50%、市50%、工事が国55%、県37%、市8%となる。			栃木県が事業主体となって工事を実施するにあたり、河川法の許可が間に合わないため、工事を全体的に1年先送りすることを決定した。工事にかかる負担金を補正予算で全額減らした。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
打ち合わせ会			回	3	2	3	3	3			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市内全域(河川、山林等)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市内の一級河川の数					12	12	12	12	12		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
治水上安全な河川にする					0	0	1	1	1		
対策を講じた一級河川の数			本								
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
適切に維持管理されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
用排水施設改修箇所数			箇所		46	41	50	55	55		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,600	0	5,200	10,400	4,881					
	事業費計(A)	千円	1,600	0	5,200	10,400	4,881					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	1,600	負担金	0	負担金	5,200	負担金	10,400	負担金	4,881
	人件費	人	1	1	1	1	1					
のべ業務時間	時間	20	20	20	20	20						
人件費計(B)	千円	78	79	79	79	79						
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,678	79	5,279	10,479	4,960						

事務事業名	県営農業用河川工作物応急対策参画事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和49年の多摩川災害とそれに基づく昭和51年の河川管理施設等構造令の公布等を契機に、農業用河川工作物に対する防災が要請されている。一級河川秋山川に設置されている赤坂堰(地元では赤坂鷹部屋堰と呼ばれている。)は、水位が一定以上になるとゲートが転倒し流水を速やかに流し災害を防止する構造になっているが、このゲートが転倒しないことがあり、水害発生の原因になる恐れが生じている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年、地球温暖化の影響によると思われる豪雨が多くなり、急激な増水に対する対応が迫られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	堰の管理者である佐野市土地改良区から基幹的農業水利施設の劣化度判定調査に基づく更新工事の要望があり、安足地域農業水利施設保全管理検討委員会で本事業による更新が計画された。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	治水対策の推進は、安心して安全に暮らせるまちづくりに欠くことができない。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	赤坂堰は佐野市土地改良区の管理であり、受益者もいるが、治水のため迅速かつ確実な対応を図る必要があることから、国、県、市の費用で事業を行う。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	対象と意図は国の要綱で定められている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	県営事業であり、やり方、進め方の見直しができない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県営事業であるため、事業費削減の余地がない。人件費は、負担金の支払い等の最低限の人件費である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	農業用水の利用者が受益者であるが、防災事業の速やかな実施のため受益者負担を求める必要が無いと思われる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
赤坂堰が治水上安全な堰になったとき				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			